

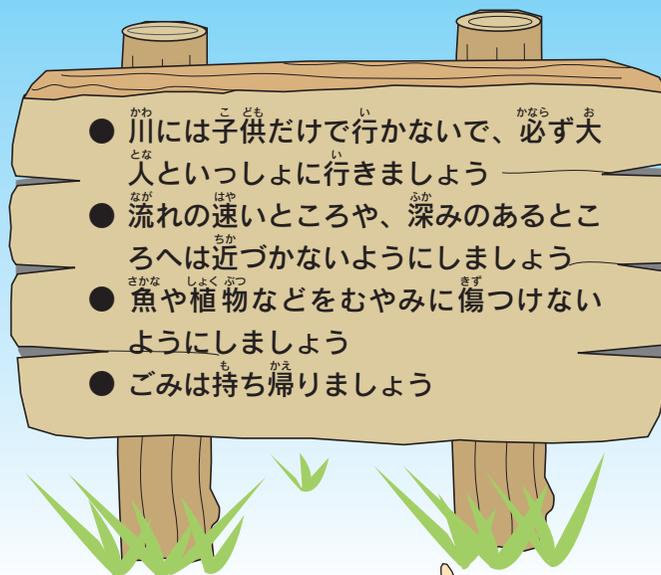


高梁川は、
私たちのくらしに欠かせない川

川の流^{なが}れはわき水^{みづ}から始^{はじ}まり、しだいに大^{おお}きな流^{なが}れとな^なって海^{うみ}にそそぎます。海^{うみ}に出^でた水^{みづ}は、あたためられて蒸^{じょう}発^{はつ}し雲^{くも}になります。雲^{くも}はやがて雨^{あめ}とな^なって地^ち表^{ひょう}に降^ふり、再^{また}びわき水^{みづ}となります。このよう^{よう}に水^{みづ}は自然^{しぜん}のなかで循^{じゆん}環^{かん}しているのです。

循^{じゆん}環^{かん}している間^{あいだ}に、汚^{よご}れた水^{みづ}は植^{しょく}物^{ぶつ}や生^いきもののはたらきによ^よってきれいな水^{みづ}にもど^もっていきま^いす。た^ただそれにも限^{げん}界^{かい}があ^あります。ふ^ふだ^だん^んのくらしのなかで、川^{かわ}の水^{みづ}がどうして汚^{よご}れるのか、それ^{それ}はどのよう^{よう}にしたら防^{ふせ}げるのか考^{かんが}えてみてくだ^{くだ}さい。

また、高^{たか}梁^{はし}川^{かわ}にかぎ^{かぎ}らず、川^{かわ}から^{から}のめ^めぐみと水^{みづ}が、私^{わたくし}たちのくらしに、ど^どれほどか^かけがえ^えのないものか、友^{とも}だ^だち^ちや家^か族^{そく}ととも^{とも}に考^{かんが}えてみま^ましょう。



- 川^{かわ}には子^こ供^{ども}だけ^{だけ}で行^いかないで、必^{かな}ず大^お人^{ひと}といっしょ^いに行^いきま^ましょう
- 流^{なが}れの速^{はや}いところ^{ところ}や、深^{ふか}みのあ^あるところ^{ところ}へは近^{ちか}づか^かないよう^{よう}にしま^ましょう
- 魚^{さかな}や植^{しょく}物^{ぶつ}など^{など}をむ^むや^やみ^みに傷^{きず}つけないよう^{よう}にしま^ましょう
- ご^もみ^みは持^もち帰^{かえ}りま^ましょう



水^{みづ}辺^べで遊^{あそ}ぶ
と^とき^きや川^{かわ}の観^{かん}察^{さつ}を
す^すると^とき^きなど^{など}には
注^{ちゅう}意^いしてね!

写真・資料提供 岡山県 倉敷市 倉敷市立自然史博物館 宮本邦男 川口幾世至 田賀辰也
財団法人 日本野鳥の会 岡山県支部
発行・発行日 総社市教育委員会 平成 15年 2月